

吉原地区だより

<発行>
吉原地区だより編集委員会

令和6年能登半島地震災害義援金募金のご協力を(お願い)

吉原地区連合自治会

この度の能登半島地震においては、穏やかな日常を一瞬に奪った自然災害の不条理を思わざるを得ませんが、犠牲となられました方々に対しまして、謹んでご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災者の方々に一日も早く平穏な日々が戻ることを念願いたします。

つきましては、災害義援金の募金箱を吉原公民館に設置しておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。



- ・他の募金箱設置場所は、市役所（1階総合案内）・市民会館・地区公民館等です。
- ・百十四銀行・香川銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）で振り込みもできます。
- ・寄付金控除等の領収書が必要な場合は、市役所1階の社会福祉課で受け付けいたします。

受付期間は、令和6年1月4日（木）～令和6年12月27日（金）です。

大規模地震に備えて！！

吉原地区自主防災会

今年1月1日に発生した能登半島地震の被害状況が連日報道されており、大規模地震の恐ろしさを感じている方が多いと思います。

香川県でも、南海トラフ大地震が発生すると予想されており、決して他人事ではありません。平時から地震に対する備えをしておくことが重要です。いざという時は「自助」すなわち自分の身は自分で守ることが大切です。

少なくとも、災害時に必要な次のことを用意しておきましょう。



災害用備蓄のポイント

- ①水、食料は一週間分を確保（ローリングストックをつくりましょう）
- ②保存水500mlを備える（2Lのものと併せる／1人当たり）
- ③非常用トイレも備える（ホームセンターなどで購入）

なお、地震による家具等の転倒や家屋の倒壊による被害事故は、生命の危機に関わる問題です。市においては、家具固定器具の購入補助制度（自治防災課）や耐震診断・改修費用の補助制度（建築住宅課）がありますので、早めに備えておきましょう。

よしはらっ子食堂

よしはらっ子倶楽部

よしはらっ子食堂は、善通寺市内で4カ所目の子ども食堂として2023年8月にオープンしました。

開催日の毎月第3土曜日には、吉原公民館に元気な声が響き渡っています。たくさんの笑顔あふれる子どもたちや保護者の様子を見てみると、「子どもの元気は地域の元気」という言葉が思い浮かびます。

これからも、ボランティアやご寄付などで応援してくださる皆さまに支えられ、幅広い子どもたちを対象に食事や学習支援を行う場所を提供し続け、将来的には多世代交流の場となるなど、地域みんなの「よしはらっ子食堂」になっていければと思っています。



感謝祭(学校田稲作)で交流

吉原地区連合自治会

6月に、5年生の女子児童は早乙女姿で、男子児童と連合自治会と福寿会有志の方々と共に、昔ながらの定木を使って「おいでまい」の苗を手植えました。

10月には、鎌を使って稲刈りに挑戦し、天日乾燥のため束ねた稲を「はぜ掛け」へと運び、実りの秋を体感しました。11月には、天日干ししていた稲束が、ハーベスター(脱穀機)から稲わらと「もみ」となって袋詰めされる様子に見入り、もみを手にしたり、稲わらを運んだりして収穫体験を楽しみました。



そして1月30日に、家庭科の授業で感謝祭を催しました。児童は収穫したお米でご飯とみそ汁を手作りして、農作業に携わった方々と一緒にご飯とみそ汁をいただき、クイズやリコーダーによる演奏など、収穫の喜びを味わいながら交流を深めました。

今年も、「米作りから学ぶ」とおしての一連の作業は、農業の楽しさと苦勞の一端を得る貴重な体験となったのではないかと思います。

ふれあい・いきいきサロン「わ・わ・わ 和・話・輪」

平成15年に設立、会員26名でスタートしました。1日の活動状況は、9時から冷・暖房をととのえて「おいでませ」カフェのオープンです。お茶・和菓子またはコーヒー・クッキーで近況報告をしながら全員が揃うのを待ち、10時に開会し本日のメインイベントであるお弁当を決めます。

それから、軽体操・歌・漢字クイズ・珍しい地名や苗字・スクラッチアート・塗り絵・点線つなぎ、そしてトランプや最近ではババ抜き



にこっています。会員のパフォーマンスに部屋中に笑い声が響きます。11時30分から食事の時間、お話をしながらくつろぎタイム終了後お開きです。最近では移動販売車「おまかせくん」が来るまで待機して3時頃買い物が終われば終了です。

毎月1回、曼荼羅寺西集会場で開催していますので、関心のある方は是非ご参加ください。お待ちしております。

